

「AI リテラシー×数学的思考法」の授業提案

北海道美深高等学校 小川 尚也

1. 自己紹介

初めまして。北海道美深高校で勤務している小川尚也と言います。

初投稿なので、温かい目で見ただけであれば幸いです。

2. AI リテラシー

現在は生成 AI が色々ところで導入しています。今後、授業を通して、生徒に AI 活用方法、モラルについて、授業を通しながら教えていく。

3. 教具

生成 AI (ChatGPT と MicrosoftBing)

4. 授業の題材について

今年、1年数学 A の習熟度展開の下クラスを担当しています。題材は「未来の炊飯器の機能について」を考えてもらい、「ChatGPT に未来の機能についてどの機能が要らないですか?」と発問する。「どの機能が優れていて、どの理由が要らないか」について討論してもらいたい。

5. 授業の発問・指示

説明 1 : 「炊飯器は電気を使ってご飯を作る、家電製品ですよ。」

発問 1 : 「100 年前はどのようにご飯を作っていたのですか。」

指示 1 : 「隣近所で話し合ってみてください。」

指示 2 : 「聞きます。はい、はい、はい。(列指名) 他に言いたい人? はい、どうぞ。」

→ 「かまで作っている」

指示 3 : 「同じように考えた人? 凄いですね、その通りなんですよ!」

指示 4 : 「次に QR コードを読み取ります。読み込んだら座ります、全員起立。」

指示 5 : 「」

説明 3 : 「20 年後の炊飯器について、先生ある人に質問しました。」

発問 2 : 「誰だと思えますか。お隣に言います。」(※どんな生徒の意見も承認し対応する)

説明 2 : 「ChatGPT に質問しました。」

発問 3 : 「どんな回答だと思えますか、予想をノートに書いてごらん。」

指示 6 : 「ChatGPT に回答してもらいました。」

指示 7 : 「未来の炊飯器を AI で描いてもらいました。予想をノートに描いてごらん。」

指示 8 : 「描けたら、先生のところに持ってきます。」 ※個別評定する

指示 9 : 「丸 (○) もらった人から、黒板に絵を描きます。」

指示 1 0 : 「この中に、未来の炊飯器があるか確認します。どれかに挙手します。」

指示 1 1 : 「モニター見ます。正解はこれです！」

指示 1 2 : 「感想を近所で言いなさい。」

発問 4 : 「次に、未来の炊飯器でいらない機能はどれですか、1 つ選びノートに書きます。」

指示 1 3 : 「皆さんで討論しましょう。」